

2020年3月期 第2四半期 決算説明会

2019年11月21日
アイエックス・ナレッジ株式会社
JASDAQ(9753)



目次



当社を取り巻く環境と業績概要

2020年3月期 第2四半期 業績

今後の取組み

1. 当社を取り巻く環境と業績概要



当社を取り巻く環境と業績概要

2020年3月期 第2四半期 業績

今後の取組み

トピックス



2020年3月期 第2四半期

4月	新入社員60名入社 情報システム会社様 1 社から感謝状
5月	大手ベンダー様の事業セグメント2分野でパートナー認定 信託銀行様 1 社から表彰 大手ベンダー様1社からパートナー認定
6月	働き方改革・RPA活用セミナー開催（東京国際フォーラム） 情報通信事業者様 1 社から感謝状
7月	新潟事業所 移転 大手ベンダー様の事業セグメント 1 分野でパートナー認定 総合エンジニアリング企業様1社から感謝状
8月	働き方改革・RPA活用セミナー開催（自社）
9月	ロボット＆プログラム体験教室 上半期4回開催 大手ベンダー様 1 社から感謝状

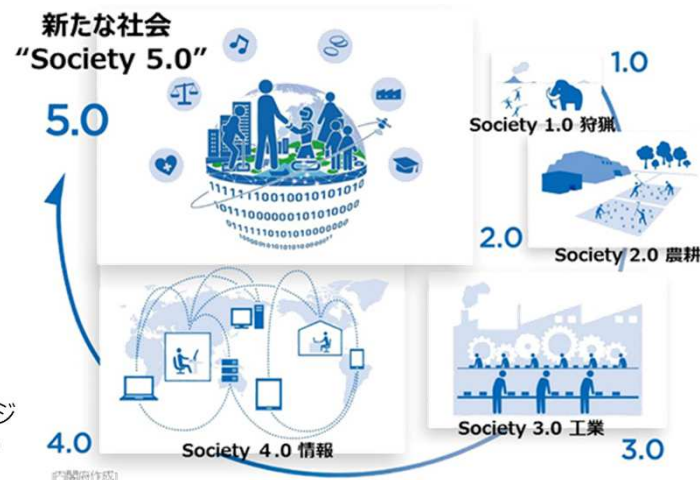
※10月、当社は前身2社の経営統合による誕生から20周年を迎えました

市場環境とそれに対する当社の取組み

社会の変化

⇒ 情報化社会（4.0）からSociety5.0の社会へ
ITの浸透、AI・IoT、ロボティクス等の新技術
を活用したDXの進展

出典：内閣府ホームページ
(https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)



< I T 産業が担う役割 >

高度 I T 技術を駆使して豊かな社会の実現に寄与

当社が担う役割

- ・既存顧客のデジタル化を見据えたシステム構築等への対応
- ・新たな技術への対応による付加価値やビジネスモデルの創出

お客様のビジネス課題解決

新たな市場創出

2020年3月期 第2四半期 業績概要（1）



【売上高】 8,744百万円（前年同期比0.3%増）

コンサル＆開発の案件収束等による売上減少を、運用案件の受注拡大がカバーし増収。

●売上への影響要因

◆運用案件の売上増加

- ✓ 基盤構築案件の拡大（↑）
- ✓ 開発から運用フェーズへの移行（↑）

◆コンサルティング＆開発案件の売上減少

- ✓ システム検証案件拡大（↑）
- ✓ 車載組込み案件拡大（↑）
- ✓ 大規模案件の収束（↓）

2020年3月期 第2四半期 業績概要（2）



【営業利益】339百万円（前年同期比18.5%減）

事業基盤の強化に取り組むものの、教育などの販管費が増加し減益。

● 営業利益への影響要因

- ✓ 次期成長事業創出に向けた技術者教育の推進
- ✓ 当社誕生20周年対応などに伴う活動費

2. 2020年3月期第2四半期業績



当社を取り巻く環境と業績概要

2020年3月期 第2四半期 業績

今後の取組み

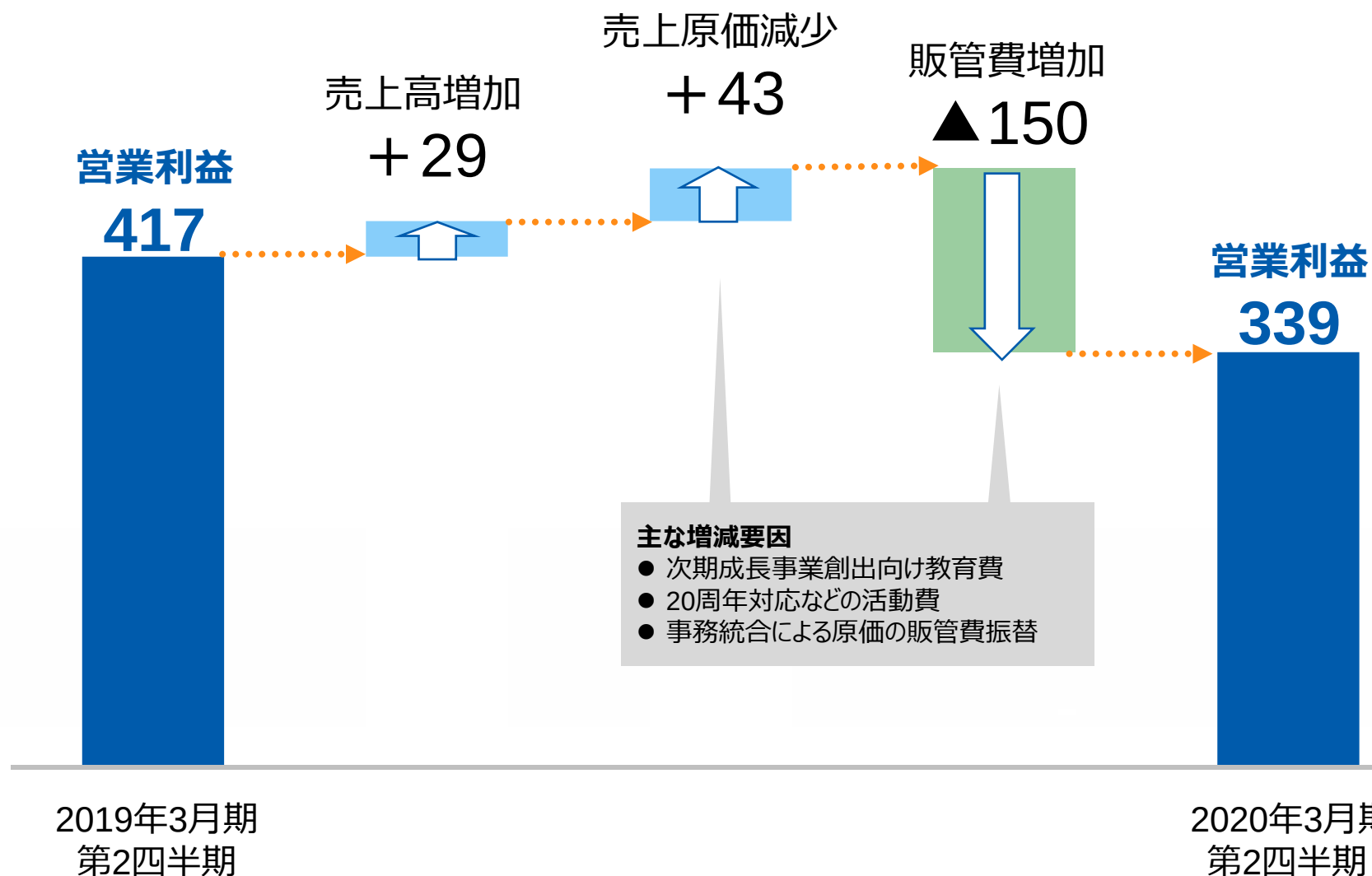
2020年3月期 第2四半期 経営成績

(単位：百万円)

	2020/3月期 第2四半期	2019/3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	8,744	8,715	29	0.3%
売上原価	7,106	7,150	▲43	▲0.6%
売上総利益	1,638	1,565	72	4.7%
売上総利益率	18.7%	18.0%	—	—
販管費	1,298	1,148	150	13.1%
営業利益	339	417	▲77	▲18.5%
経常利益	360	442	▲81	▲18.5%
四半期純利益	222	299	▲76	▲25.7%

営業利益の変動要因

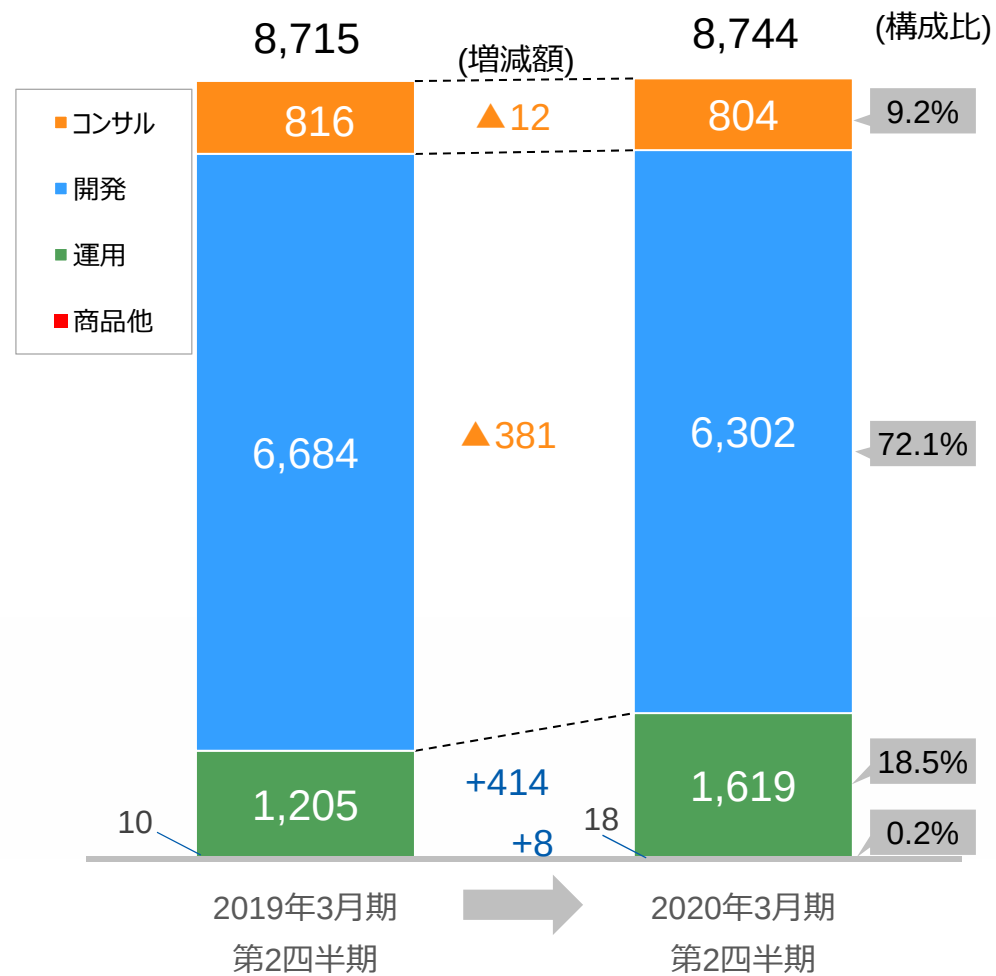
(単位：百万円)



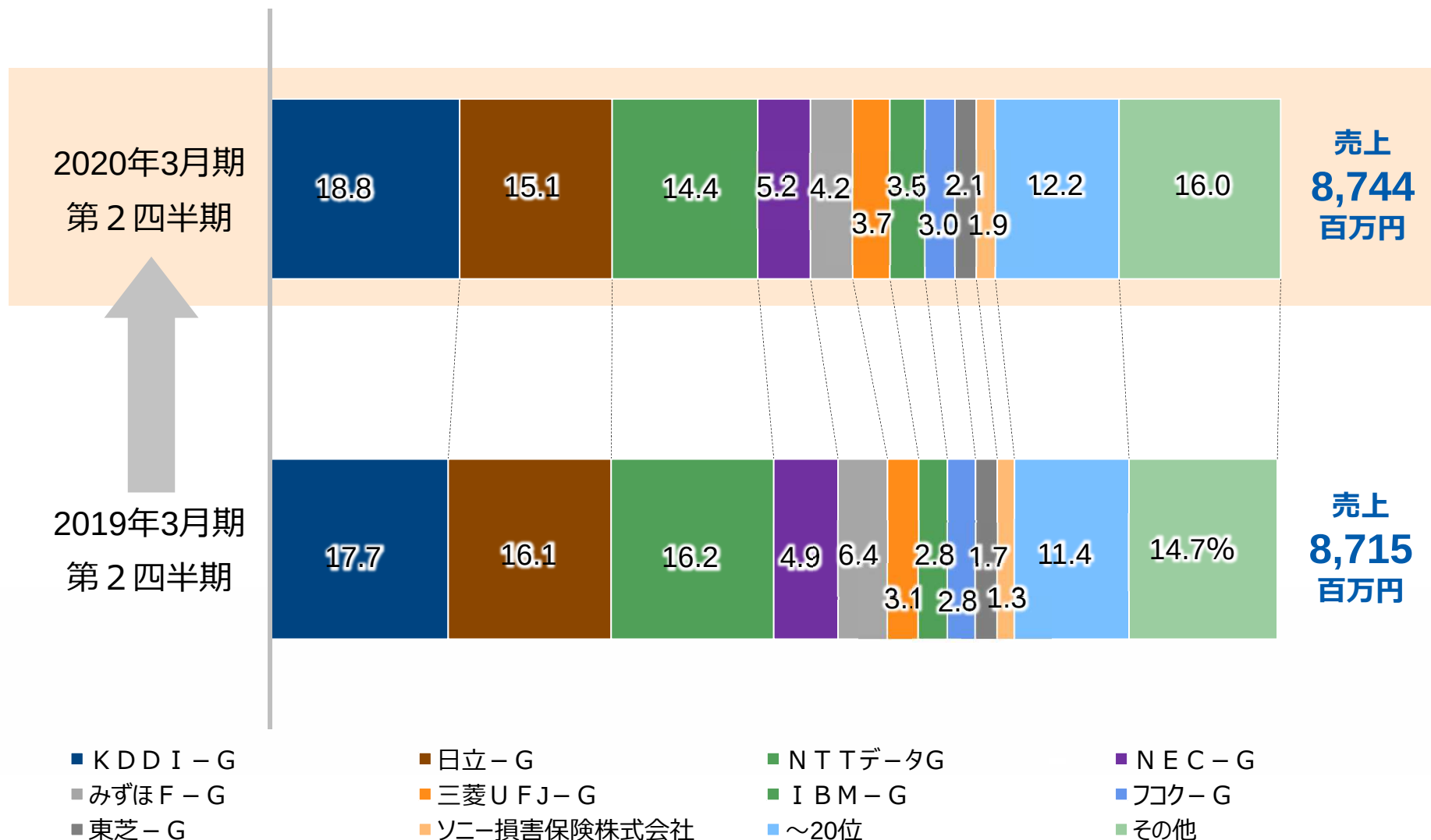
品目別売上構成

品目別

(単位：百万円)



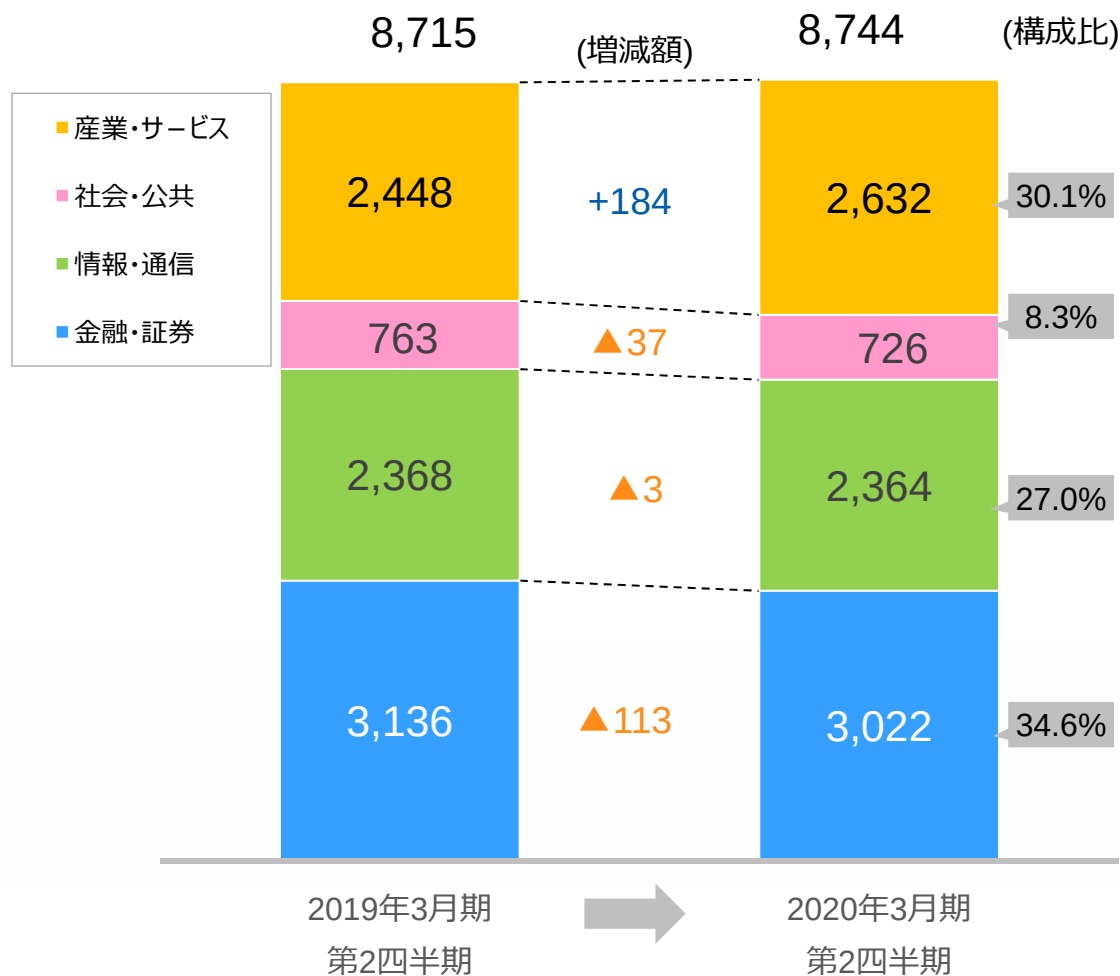
契約先顧客グループ別売上構成



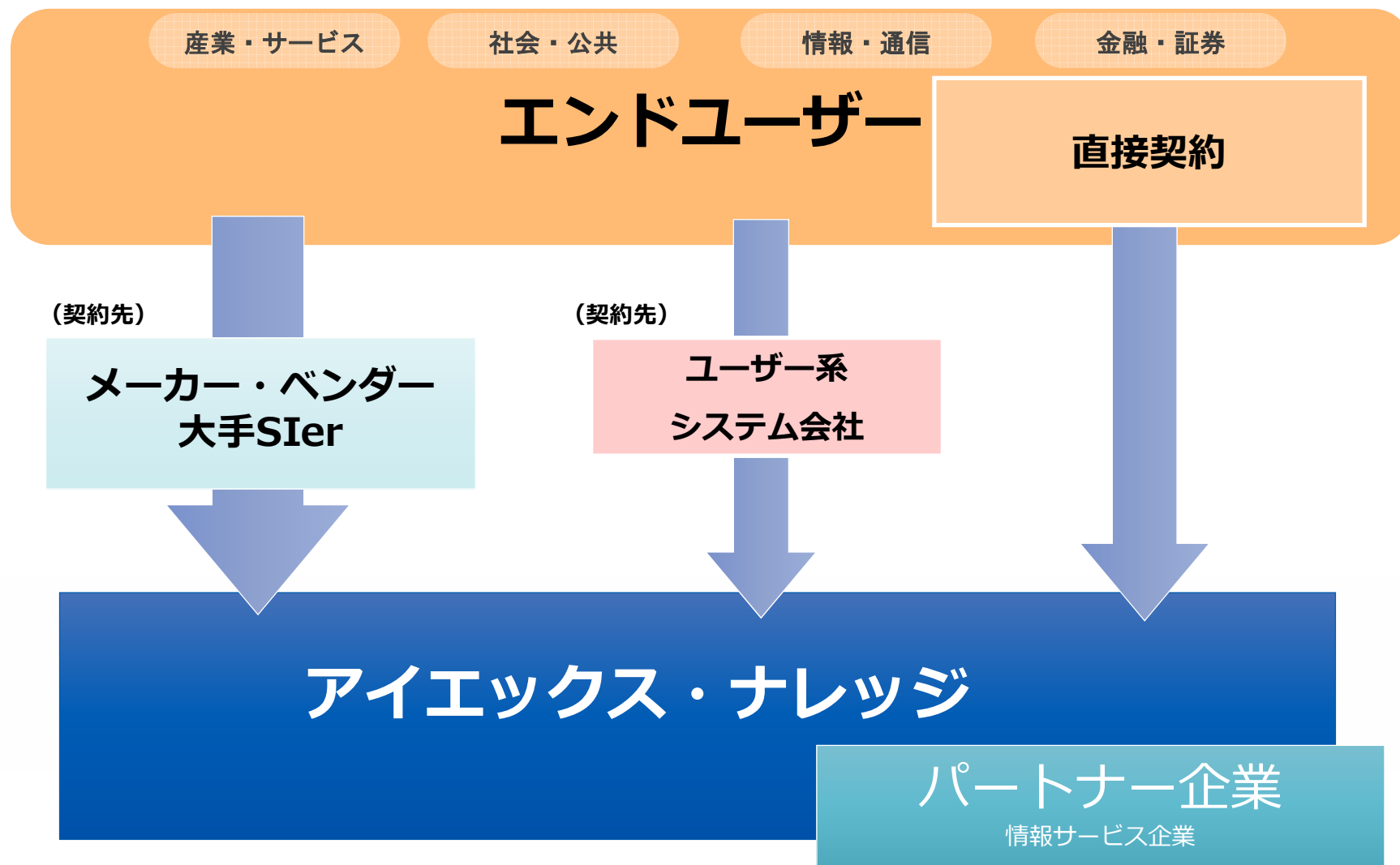
※グラフ中の数値は、売上全体に占める割合(%)を表しています

エンドユーザー業種別売上構成

エンドユーザー業種別 (単位：百万円)



(参考) 当社のビジネス構造

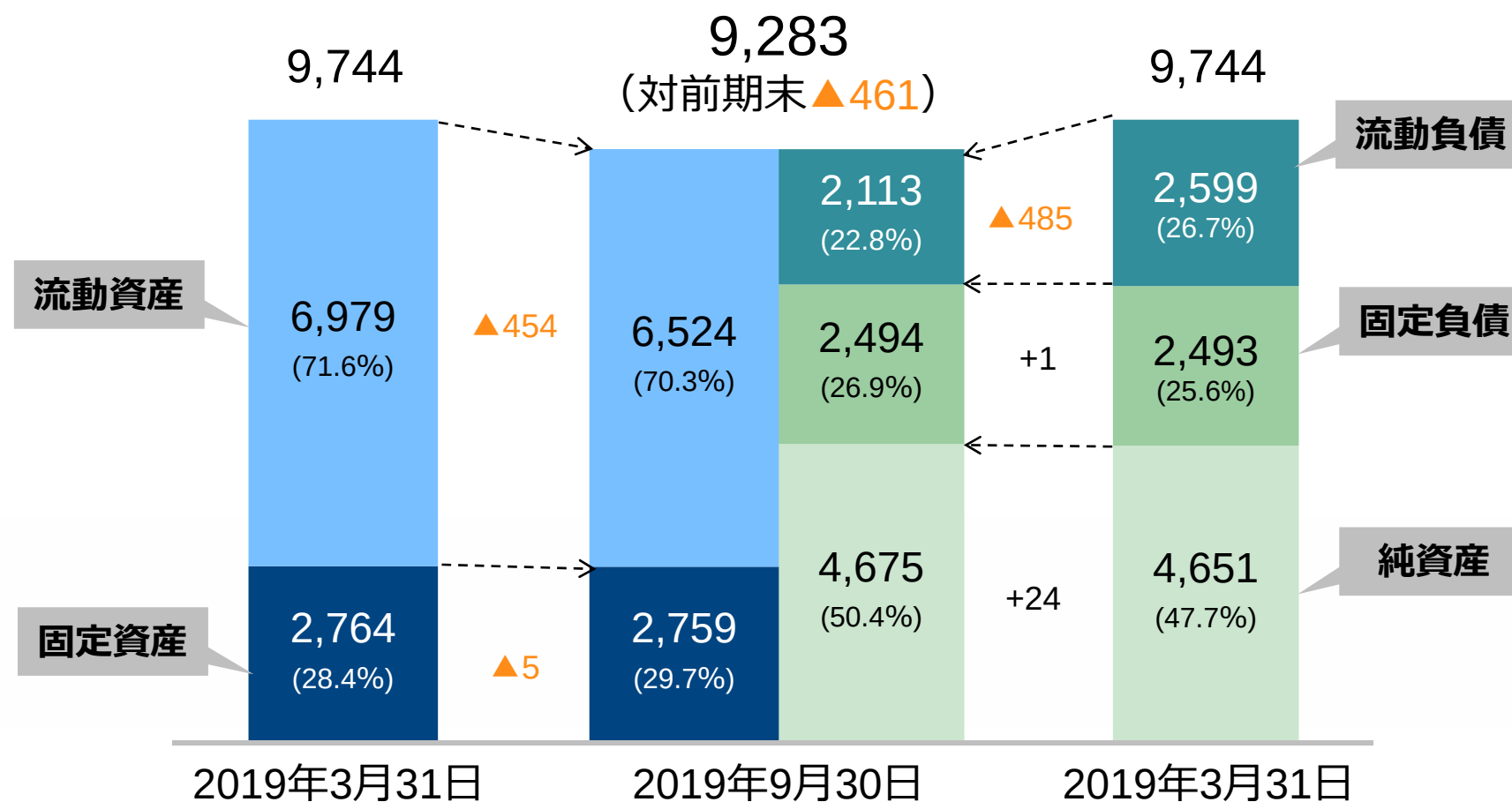


貸借対照表

資産の部

負債・純資産の部

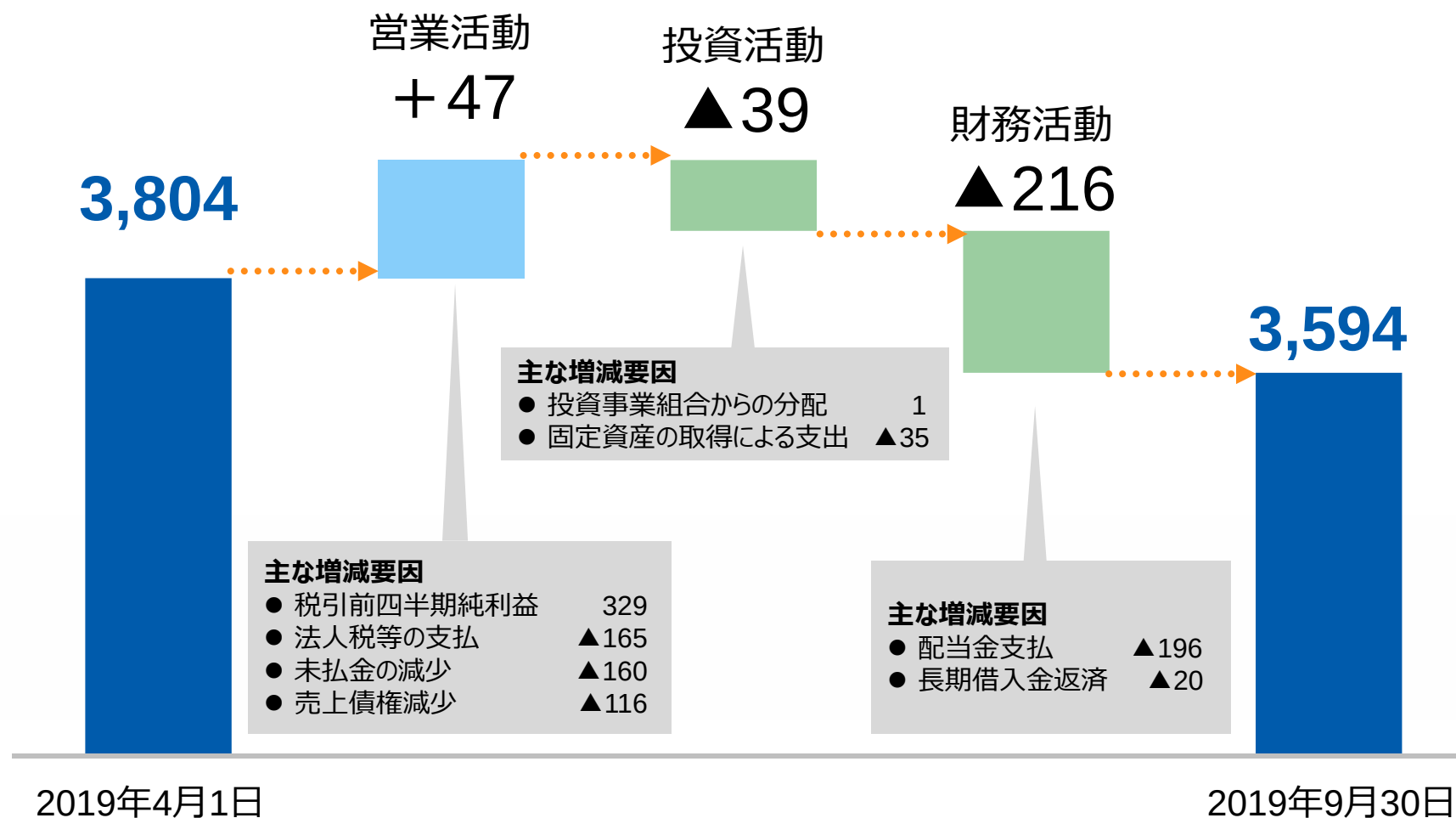
(単位：百万円)



キャッシュ・フロー

2019年4月1日～2019年9月30日

(単位：百万円)





今年度の取組み

既存大型案件への取組み

- ・ 車載関連
- ・ 資産運用系金融機関案件
- ・ 化粧品会社向け案件
- ・ 基盤構築案件

新規案件への取組み

- ・ 大手SIer経由新規案件
アパレル関連
生命保険関連

事業基盤の強化

- ・ 先端技術対応人材の育成・ノウハウ習得
- ・ パートナー企業との連携による案件対応力強化
- ・ 原価管理の徹底

2020年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2020年3月期 予想	2019年3月期 実績	増減率
売上高	18,014	17,761	1.4%
売上原価	14,601	14,691	▲0.6%
売上総利益	3,413	3,070	11.2%
売上総利益率	18.9%	17.3%	—
販管費	2,573	2,246	14.5%
営業利益	840	823	2.0%
経常利益	879	879	0.0%
当期純利益	591	586	0.9%
配当金	15円	20円(*)	—

*普通配当10円 + 記念配当10円

3. 今後の取組み



当社を取り巻く環境と業績概要

2020年3月期 第2四半期 業績

今後の取組み

中期経営方針



【中期経営方針】

- ① 中核事業の拡大
- ② 次期成長事業の創出
- ③ 事業基盤の強化



取組みポイント

No	取組みポイント
1	(営業体制) 営業体制強化
2	(開発体制) 厳正な開発管理とP M人材強化・育成
3	(案件対応力) パートナー企業と共に案件対応力を強化
4	(デジタル化DX対応) ①DXに対応した事業検討 ②対応デジタル先端技術を活用した ソリューションサービス創出

当社が目指すもの



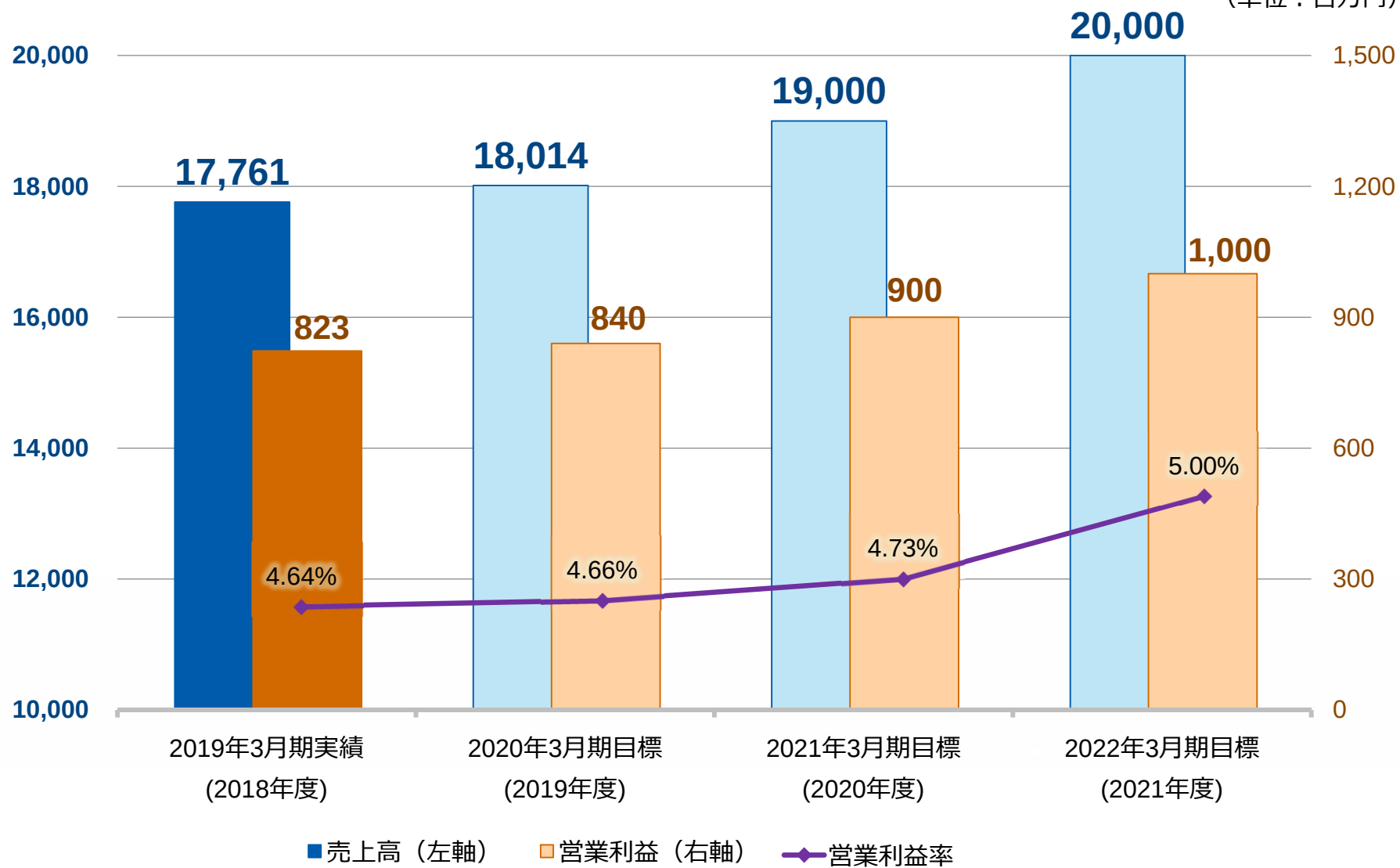
お客様

ケーパビリティの拡大からお客様との「共創」へ

中期業績目標



(単位：百万円)





IX Knowledge Inc.

当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございますこと、予めご承知いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先
経営企画本部 経営管理部
電話 03-6400-7010
E-mail ir@ikic.co.jp
URL <https://www.ikic.co.jp>